

同風

機関紙命名 鵬雲斎宗匠
題字揮毫 納屋宗淡宗匠

発行所

茶道裏千家淡交会青年部
近畿第二ブロック

ご挨拶

ブロック長 中川 雅照

平素より、近畿第二ブロックの活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和七年度は、本誌「同風」を新たな装いにてお届けいたします。今年から誌面を全面カラー化し、行事の情景や青年部の活動をより身近に感じていただけるよう、多くの写真を掲載いたしました。

また、今年度は皆様のおかげで、万博事業のお茶会にはじまり、六月に尼崎で交流会、八月に和歌山でブロック研修会、十一月にチャリティ茶会を開催致しました。

令和七・八年度は「『和』をもって、想いをつなぐ」をテーマに掲げ活動させていただいております。「想い」という言葉には、人の心の中にある大切な気持ちや願いが込められています。茶道においてもこの「想い」は極めて重要であり、形だけでなく心を込めることが本質であると感じております。

日本古来の「和」の精神を大切にしつつ、青年らしく新たな取組みに挑み、温かさや感動で「想いをつなぐ」ことができるよう努めてまいります。今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。



座禅・絵付体験

六月二十一日(土)
廣徳寺・法園寺

令和七年六月二十一日(土) 尼崎で座禅と茶碗の絵付け体験を行いました。まずは廣徳寺にて、座禅の基本姿勢や呼吸法を教わりました。日々、多くの情報で疲れた心を静め、自分の内側を見つめ直す時間となりました。

続いて、座禅を行ったお寺のすぐ近くにある法園寺で呈茶をいただき、茶碗の絵付け体験へ。尼崎の琴浦窯・和田桐山先生と泰明先生にご指導いただきました。

先生があらかじめ下絵を描いてくださったため、その上に色を塗るだけののはずが、細かい部分が多いため意外と難しく、先生方に優しくご指導いただきながら、なんとか完成させることができました。はみ出した部分や、色が薄く出にくそうな箇所は先生が仕上げてくださるとのこと、不器用な人でも安心でした。



万博迎賓館呈茶

八月八日(金)
大阪関西万博迎賓館

令和七年八月八日(金) 大阪関西万博迎賓館にて東南アジア諸国連合(ASEAN)よりマレーシアの大臣、ASEAN事務局局長御一行様を堺支部先生活方と青年部ブロック出向者にてお迎え致しました。和服姿の三澤政府代表代理による茶の湯の歴史と裏千家について、更に当日の室礼の細やかなご説明のあと、皆様にお菓子や薄茶を楽しんで頂きました。

最後に大臣や事務局長は点前座にお座りになり、実際にお薄器からお茶をすくい、柄杓でお湯を汲まれ、楽しんでお茶筌を振られるなどお点前を体験され、点てられましたお茶を青年部員が頂戴する一幕もございました。大変和やかな交流をさせて頂き貴重な経験となりました。





題字は鵬雲斎宗匠

ご挨拶 会長 税所 貴一

大阪四青年部の部長をはじめとする役員の皆様には、多数の出向者を大阪四青年部連合会に輩出して頂き、心より感謝申し上げます。

会員の皆様には平素より大阪四青年部の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年度も出向者が協力し合いながら教養講座を企画し、東西南北の連携によって特色ある活動を展開でき、若い世代の参加も広がりました。

また、天神祭の献茶船では大阪北青年部が主担当を担い、各青年部の協力、親支部の支援により無事に執り行うことができました。加えて、大徳寺での特別展覧にも多くの会員の皆様にご参加いただき、貴重な機会を共有することができました。

本年は伝統を大切にしながら、より多くの会員の皆様が気軽に参加できる場を広げ、教養講座を通じて「学び」と「楽しみ」を共有できる活動を目指してまいりました。

各支部親先生、諸先輩方におかれましては、これまでと同様にご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

発行所
茶道裏千家淡交会
大阪四青年部連合会

大阪四青年部連合会
ホームページ
茶道教養講座等の最新情報
を発信しています！



「つなぐ心、つなぐ技 朝日焼の四百年」

松林 豊斎先生(二月十三日 木)

朝日焼は良質な陶土を用いた鹿背の斑点模様が特徴な焼き物であり、還元と酸化を巧みに組み合わせた技法であります。四百年以上続くその間には厳しい時代もあったものの、煎茶の茶器制作から技術を広げてきた歴史も興味深いお話でした。伝統を守り続けていくことは、技術だけでなく、作り手から作り手へと心をつなぐことも大切だと感じました。

「袋師の仕事」

土田 半四郎先生(三月十九日 水)

仕覆作成の工程を実演で拝見できた貴重な機会でした。その工程は、大きなや形が異なる茶入のそれぞれに合わせ型をとり、内側の裂と外側の裂に綿を細く巻き付ける、どれも繊細で単純ではない作業ばかりで、仕上がりを美しく、使い易いものにするために二・三か月の期間が必要でした。受け継がれている技の中にも個人の技術と経験によるところが大きく、袋師の茶入れ・道具一つ一つに敬意を持った技を間近で拝見することが出来た貴重な時間でした。

「客の心得 くお茶席の楽しみ」

鮎子田 宗恵先生(四月十一日 金)

亭主は茶会のために道具やお菓子、茶の吟味を行い、客においしくお茶をいただいてもらうために最大限の努力を行っています。客は亭主のその想いを慮ることが大切であり、問答が形式的にならないよう道具、歳時記、歴史、地域文化の理解が必要であり、そのためには常に知識を深める必要があると感じました。

「竹と茶筌について」

谷村 丹後先生(五月十六日 金)

茶筌の歴史的背景および各流派における穂先形状の違いについて詳細に説明していただきました。日常的に使用している茶筌が、竹の伐採・油抜き・乾燥・割竹・糸掛け・穂先加工といった多段階の工程を経て丁寧に作られていること、また穂先の形状にはそれぞれに意味と目的があることを理解することができました。

「煌めく蒔絵 麗しの漆の美」

川端 近左先生(六月十日 火)

冒頭では、映像を通じて美しい棗の作品群および制作過程をご紹介いただきました。資料を用いて、素地・漆塗り・装飾に用いられる金・貝などの伝統的な素材やその技法の紹介、蒔絵の技法、如心斎による三十二器の解説があり、実際の工程の様子や多くの作品の解説をしていただきました。



(6月13日) 川端 近左 先生



(5月16日) 谷村 丹後 先生



(4月11日) 鮎子田 宗恵 先生



(3月19日) 土田 半四郎 先生



(2月13日) 松林 豊斎 先生



天神祭 献茶船

担当 大阪北青年部

七月二十五日(金)

大阪南支部 幹事

小谷様、植田様、伊藤様

天神祭献茶船に乗船させていただきました、誠にありがとうございました。

夕方五時三十分、天満橋港を出港し、ご挨拶に続いて厳かな献茶点前が始まりました。お点前も滞りなく進み、無事に奉納が終わった後には、船渡御が繰り広げられ、船上では呈茶やお食事を美味しく頂戴いたしました。行き交う船から手を振ってくださる方々との交流も心温まるひとときであり、近くで眺める万博カラーの花火には大変感動いたしました。日中の暑さを忘れ、約三時間にわたり、夏の風物詩である天神祭を存分に堪能することができました。

大阪北青年部の皆様には、酷暑の中、周到な準備と丁寧な接待を賜り、心より御礼申し上げます。おかげさまで無事に帰路につくことができましたこと、改めて感謝申し上げます。



特別展覧

「大徳寺大慈院にて

座禅とお菓子作り体験」

(九月七日(日))

大徳寺大慈院に於いて、戸田惺山住職の座禅体験と講話、また塩芳軒の高家啓太様による和菓子作り体験、離れの茶室で先ほど作られたお菓子を食べていただきお呈茶をさせていただきます。スタッフ合わせて一二〇名を超える申し込みがあり四班に別れて順に行いました。



「玄々斎と尾張の茶」

神谷 宗銀先生(七月四日(金))

尾張藩の茶道は、有楽流の武家茶道が主流でしたが、幕末期に徳川齊荘公が第十二代藩主となると裏千家十一代・玄々斎に師事し、その在封期間はわずか七年ながら、齊荘公の尽力により、尾張藩では初めて裏千家の茶の湯が広まったその歴史について講演いただきました。



神谷 宗銀先生

「能と茶の湯」

種田道一先生(十月十七日(金))

はじめに会場にお越しのみなさんに種田先生の指導の後に「高砂」の謡をさせていただきます、「八島」では義経を實際に舞っていただきました。引き算の表現という茶道においてもお点前がガチガチでは見てる側もしんどく、演じる側も力を入れてはいるが、表面は柔らかく見せることが美学であることなど、様々な共通点を学びました。

「露地のしつらえ」

小河 正行先生(十一月十三日(木))

今年の教養講座の最後は小河正之先生に「露地のしつらえ」についてご講演いただきました。

令和8年度(2026年)茶道教養講座予定表

回	月日	演題	講師
567	2月6日(金) 2/20(金)~3/17(火)	わびの思想とその変遷	茶道史家 神津 朝夫 先生
568	3月18日(水) 4/1(水)~4/16(木)	茶室の役割	山中工務店 取締役 稲井田 将行 先生
569	4月3日(金) 4/17(金)~5/6(水)	茶の湯の塗物づくり	千家十職塗師十三代 中村 宗哲 先生
570	5月7日(木)	美しき所作	京舞井上流五世家元 井上 八千代 先生
571	6月	茶の湯の金物について	金物師 第十六代目 金谷五良三郎 先生
572	7月	未定	今日庵 業跡 先生
573	9月6日(日)	特別展覧 真田紐の歴史とそのひみつ 小物作り体験	真田紐師 江南 十五代 和田 伊三男 先生
574	10月	懐石について	辻留 京都店主主人 平 晴彦 先生
575	11月	「伝統を考える」 ～日本の中の備前 世界の中の備前～	備前焼桃蹊堂二十六代 木村 桃山 先生

(註) 第573回 特別展覧は、別途会費が必要です。
日時 講演日は開催月の一か月前までに決定します。
講演時間は午後7時より8時30分までの予定です。

会場 大阪市内の公共施設
会費 大阪四青年部会員 5,000円 一般会員 7,000円
臨時聴講(1回につき)大阪四青年部会員 2,000円 一般会員 2,000円
※講師・講演内容等により、「会場開催」のみとなる場合や開催日時・内容の変更または中止する場合があります。
※編集の都合上、配信期間は変更になる場合があります。最新情報はホームページ最新情報をご確認ください。 <https://osakayonseinenbu.com/>



鵬雲斎宗匠が青年部を創設され七十五年。修練・奉仕・友情を大切に、豊かで穏やかな社会の発展に貢献できるよう、まずは自分たちが一つひとつの活動を楽しんで参ります。引き続き御指導を何卒宜しくお願い致します。



令和7年・8年度テーマ 素直な心で一を楽しもう

ご挨拶

部長 竹田 哲之助

平素より大阪東青年部の活動に御協力をいただくと共に、出向者に対しまして、青年部の枠を超えた成長の機会を賜り、深く感謝申し上げます。



題字は鵬雲斎宗匠

発行所

茶道裏千家淡交会
大阪東青年部

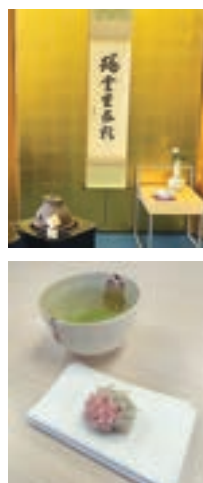


月白茶会 主菓子
水面の月
(千本玉壽軒製)

全体懇親会・立礼茶会

二月二十四日(月・祝)
生國魂神社 参集殿

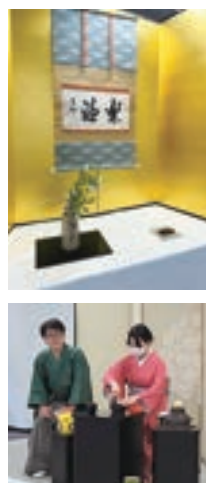
新春の趣向の茶会では二部制にして会員が主客に分かれて楽しみました。懇親会では全員に当たる福引きをしながら楽しい時間を通して、会員同士の交流を深めることができました。



真宗大谷派難波別院供茶式

四月十七日(木)
真宗大谷派難波別院(南御堂)

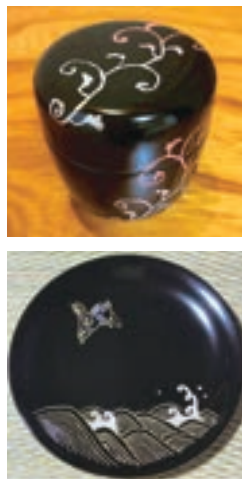
南御堂にて坐忘斎御家元による供茶式が行われ、青年部では大阪大谷大学茶道部と共に副席を担当させていただきました。



事業委員会行事

六月二十九日(日)
生國魂神社 参集殿

谷口博山先生をお招きし、山中塗の蒔絵体験を行いました。完成した作品は月白茶会で展示いたしました。



全体会議・点心試食会

八月三十日(土)
生國魂神社 参集殿

月白茶会についての打ち合わせ、点心席で使用する行灯の作成、点心の試食を行いました。



月白(つきしろ)茶会

九月二十八日(日)
生國魂神社内 参集殿・玉秀庵

本席のお月見の趣向に加え、閉幕直前の万博を意識した待合、観月の宴の点心席にてお客様をおもてなしさせていただきました。



その他の行事報告 青年部総会

十二月七日(日)
ホテルアウリーナ大阪

ご卒業

おめでとうございます

岡田 早映子さん
北村 好香さん
小林 薫さん
澤田 卓士さん
田中 忠和さん
村本 美穂さん
松本 康隆さん
山莊 直子さん
余座 正子さん
吉崎 宜子さん
これまで青年部活動にご尽力いただきありがとうございました



『楽しみ！つながり！“和”をつくる！』
未来は茶人がつくる！』をテーマと定めました。楽しみ、仲間とつながり、内から外へ“和”の精神性を拡げていくことで、仲間と共に心豊かな未来をつくって参ります。

ご挨拶

部長 戎 健太郎



題字は鵬雲斎宗匠

発行所

茶道裏千家淡交会
大阪西青年部

第二回例会(会員交流会)

四月六日(日)
阿倍野長屋

大寄せ茶会で使う待合札を墨流しで作ったり、御濃茶を雪見だいふくにかけてデザートにしたり、昼食も会員の手作りと親睦を図りました。

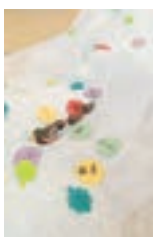
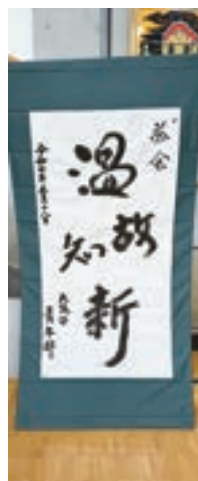


大寄せ茶会

五月十八日(日)
大念仏寺

今年度は濃茶席・薄茶席の二席で企画し、OBの皆様が繋いできた想いや、令和七・八年度のサブテーマ「未来は茶人がつくる！」から、濃茶席は「温故」、薄茶席は「知新」をコンセプトとして設えました。

濃茶席では大阪西青年部がこれまで引き継いできたお道具を使い、薄茶席ではAI半東やチタンのお茶碗、サブテーマをプリントしたお干菓子を用いておもてなしを行いました。



第三回例会(会員交流会)

七月六日(日)
高山竹林園

茶室の里、奈良県の高山で日本一大きい茶道具を使つての茶会体験、茶室師である久保駒吉商店様をお招きし、各位がオリジナルの色糸茶室を作りしました。



行事報告

二月二十四日 第一回例会
四月六日 第二回例会
五月十八日 大寄せ茶会
七月六日 第三回例会
九月二十八日 国際交流茶会
十月二十八日 生國魂神社献茶式
十二月七日 総会・卒業茶会

祝ご卒業

柳谷 幸男様
神蘭 弘美様
大森 貴之様





ご挨拶 部長 榎 和也

今期、大阪南青年部部長職をお預かりしております榎和也でございます。平素は親先生を始め諸先輩方に多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。大阪・関西万博を迎え、茶道を通じて国内外へ日本の心を伝える挑戦の年でありました。今後も伝統を次代へ継承すべく精進してまいる所存でございます。引き続きどうぞご協力とご指導を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



題字は鵬雲斎宗匠

発行所
茶道裏千家淡交会
大阪南青年部

今期テーマ
**心を結ぶ
一碗**
～日本の伝統を
次代へ～

第一回全体会議、初心者向け英語講座

二月十五日（土）
於：吹田歴史文化まちづくりセンター 浜屋敷



本年度最初の事業となる第一回全体会議及び初心者向け英語講座を開催致しました。本年は大阪・関西万博が開催され、日本の方だけではなく海外からお越しのお客様をおもてなしする事も想定し、英語で茶道の魅力を伝えながら素敵な時間を過ごせるようにと企画致しました。会員のお子様方にも英語の実演をしてもらったりなど世代を超えて共に学び楽しめる講座となりました。今回は万博呈茶の機会に恵まれず残念でしたが、今後の活動に必ず活かされていく貴重な機会になったと思っております。

懇親茶会

六月二十二日（土）
於：大阪国際交流センター内 鴻臚庵

大阪南支部の先生方、青年部員、青年部に未加入の方にも参加して頂き、交流を目的とした懇親茶会を開催致しました。お越し頂きました皆様にはお待合にて水引で茅の輪を作るなど和やかにお過ごしいただいた後、本席では部長によるおもてなしを楽しんで頂きました。この日のために部長と会員が青竹を切り出し、幾つかのお道具を手作りするなど準備の楽しさと難しさも経験致しました。



大寄せ茶会「旅茶会」

十月二十六日（日）
於：生國魂神社内 玉秀庵



大寄せ茶会「旅茶会」を行いました。『いざ、日本の旅へ』関西から日本各地を旅する事をテーマに、副席では各地方にちなんだお茶碗やお菓子を準備し、折据で行先を決めました。旅気分を楽しんで頂けたと思います。

皆様のご支援により無事に終わりました。次は運営を整え、より多くのお客様をお迎えできるよう努めて参ります。

ご卒業おめでとうございます

砂田 真弓さん
為川 美恵さん
山岡 多恵さん

これまで青年部活動にご尽力頂き
ありがとうございました



題字は鵬雲斎宗匠

発行所

茶道裏千家淡交会
大阪北青年部

ご挨拶

部長 吉田 直人

平素より青年部活動にご理解を賜り、誠にありがとうございます。

来年度のテーマを「一期一会」とさせていただきます。変化の時代にあっても先人の功績を礎に大切な仲間たちと意見を交わしながら企画し、後世へと繋ぐ組織、出会いを創りたいと思います。

今後ともご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

水無瀬神宮
献茶式副席

四月五日(土)

水無瀬神宮



穏やかな春日和に恵まれた中、千宗史若宗匠様ご奉仕のもと、水無瀬神宮御献茶式が厳かに執り行われました。青年部としては少人数での参加となりましたが、奉仕者一同が心を一つにし、多くのお客様をお迎えしながら、担当させていただいた副席を無事に務めることができました。

春の茶会『フロニイコウ』

五月二十五日(日)
生國魂神社内玉秀庵

生國魂神社内玉秀庵で「フロニイコウ」をテーマに開催された春の茶会に、娘と一緒に参加させていただきました。

丸卓を風呂椅子に、桶側を風呂桶に見立てるなど、思わず笑ってしまうような大阪らしい遊び心いっぱい趣向に、会場も和やかな空気に包まれていました。

私は二席目のお点前を務め、娘はお菓子やお茶をお運びしながらお手伝いさせていただきました。親子で一緒に茶の湯を体験でき、とても楽しく、心に残る貴重なひと時となりました。

(寺田)



天神祭献茶船

七月二十五日(金)



天神祭献茶船を大阪北青年部が担当させていただきました。当日は御来賓を含む約40名が乗船。祭の賑わいの中、船上での献茶は揺らぎと風に包まれ、特別な緊張と高揚に満ちたひとときとなりました。多くの方々の支えに感謝し、この経験を糧に今後も研鑽してまいります。

(松井)

令和8年度テーマ

“一期一会”



螺鈿体験

九月二十日(土)

嵯峨螺鈿野村

京都嵐山の嵯峨螺鈿野村工房を訪れ「螺鈿蒔絵体験」を行いました。出来上がり思い描きながらデザインの上の部分の部分を螺鈿にするか考え、シート状の鮑貝を針で丁寧に切り取り丸盆に貼り付け、カシュー漆で絵付けを施しました。参加者は皆黙々と自分の丸盆に集中し、最後のひと塗りを終えると仕上げに金粉を蒔いて完成です。

同じデザインでも大胆さや繊細さなど個性が現れ、お互いの作品を褒め合いながら出来上がりを手に記念撮影をし、一同満足げな表情を浮かべていました。来年的お茶会でこの作品を活用することが今から楽しみです。(猪原)



【令和8年度行事予定】

4月11日 十三軒窯工房見学

6月7日 青年部茶会

7月中旬 一般参加対象行事

10月中旬 青年部交流事業

12月中旬 第14回定時総会

随時、参加型行事を計画予定

大志万 泰範 さん
大原 由貴子 さん

ご卒業おめでとうございます

お世話になりました
ありがとうございました



題字は鵬雲斎宗匠

「」 挨拶

部長 中野 真哉

堺青年部部長の中野真哉です。

今期は「承前啓後く未来への架け橋となるために」をスローガンに事業を展開しました。そして令和8年10月には設立60周年記念行事を開催致します。この機会を与えて頂いた堺支部をはじめ多くの方に深く感謝申し上げます。今後も皆様にはご高配並びにご協力のほどお願い申し上げます。

三千家青年茶人10周年記念茶会

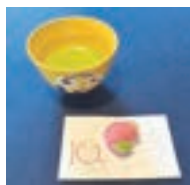
三月九日(日) さかい利晶の杜

さかい利晶の杜開館

10周年企画として、三千家青年茶人による茶会が開催されました。

「堺の歴史に思いを馳せてく南蛮貿易から大航海時代へ」をテーマに、お道具、お菓子や衣装まで南蛮風に揃えました。

また、後日開催された表千家・武者小路千家青年部の記念茶会に



発行所
茶道裏千家淡交会
堺青年部

堺青年部SNS

フォロー・いいね！
をお願いします



祝ご卒業
吉原理恵様

も参加させていただき、青年茶人として交流を深めることができました。

委員会行事く筆手紙体験く

四月六日(日) 山徳(八尾市)

筆手紙道協会家元浦川良子様は筆手紙をご指導いただきました。



一般的な書道とは異なり、自由に季節の言葉や書体を使う書道で、文字に添える絵も描きます。今回は顔彩と八尾市で生産されている歯ブラシを使って、桜やカーネーションを描きました。



南宗寺献茶式

四月二十七日(日) 南宗寺

毎年三千家の持ち回りで執り行われている南宗寺献茶式。今年は裏千家丹心斎若宗匠の御奉仕により執り行われ、青年部も参加いたしました。

新入会員歓迎茶会

六月二十八日(土) 小森商店・南游庵

今年度入会された会員をご招待して歓迎茶会を開催しました。赤と青の万博風茅の輪で席入りしていただいたり、ミヤクミヤクが散りばめられた演出をおこないました。歓迎茶会が初めての青年部行事の方もいましたが、温かく嬉しい感想をいただき、楽しんでいただけたかと思います。



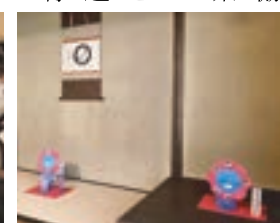
学校茶道く夏の茶会く

七月二十一日(祝) さかい利晶の杜

堺学校茶道連絡協議会と合同で夏の茶会を開催しました。

当日は学生が主体となってお点前、お運び、半東を行い、青年部は運営、水屋、その他諸々のお手伝いし、交流を深めることが出来ました。

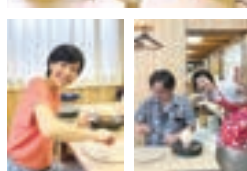
今後、学生の皆様の青年部入会をお待ちしております。



委員会行事く朝日焼作陶体験く

九月十三日(土) 朝日焼作陶館(宇治市)

朝日焼作陶館の皆様にお世話になり土ひねり体験をさせていただきました。松林豊斎様から朝日焼の歴史や登窯の説明をいただき、参加者それぞれ違った型を選び、実際に使う事を想像して作陶しました。また、卒業生2名にも参加していただき、現役会員との親睦を深める事ができました。



第52回堺まつりく公道茶会く

十月十九日(日) 大小路筋(堺市堺区)

第52回堺まつりが開催され、今年度も公道茶会を開催いたしました。

今年は「五穀豊穣」をテーマに、丸市菓子舗による米俵を模した主菓子や秋の実りを感じられるお道具を用意し、来場された多くの市民の皆様は秋のお茶席を楽しんでいただきました。





和歌山青年部の部長を務めております田邊 武でございます。「学ぶ喜び」をテーマに、部長として初めての一年を務めさせていただきました。皆様のご支援とご協力に支えられ、数々の行事を滞りなく開催できましたこと、感謝申し上げます。来年はより一層の充実を図り、特に若い世代への継承や、地域との交流を深める取り組みに力を入れたと考えております。来年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

ご挨拶

部長 田邊 武



発行所
茶道裏千家淡交会
和歌山青年部

学ぶ喜び

令和八年度テーマ

初茶会

一月十九日(日)
琴ノ浦温山荘園

初茶会は青年部に入って初めて参加させていただいた行事ですが、毎年皆様と一服のお茶を通じて、新たに新年を迎えられることを本当に一期一会のかけがえのないひとときだと実感しております。まだまだ未熟な私でございますが、このかけがえのないひとときを大切に今後も邁進して参りますので、先生方や諸先輩方どうぞよろしくお願い申し上げます。(和田 瑞季)

観梅茶会

二月二十三日(日)
紀州石神田辺梅林

紀州石神田辺梅林でのお呈茶を行いました。お菓子は青年部三代目部長の手作りの柚子最中をご用意し、また卒業された先輩方も水屋を支えてくださり、世代を超えた交流の輪が広がりました。当日の朝はまだ堅かった梅の蕾が、昼にかけて次第にほころんでいく様子に、しなやかな生命の息吹を感じ、心穏やかに春の訪れを実感する一日となりました。(井本 ゆか)

ご卒業
おめでとうございます

中村 光典さん
宮本 英嗣さん

ブロック研修会

八月二十四日(日)
和歌山城ホール

暑さが和らぐ頃と言われる処暑も過ぎた八月二十四日、ブロック研修会に初めて参加し、呈茶のお手伝いをさせて頂きました。当日は猛暑日となりましたが、冷茶を用意し涼しく過ごして頂けるようにという青年部の皆様の優しさを感じました。研修会では、普段何気なく行なっている所作の見直しや新しい学びの場となりました。懇親会でも様々なブロックの方々と交流を深めることができ、有意義な時間となりました。(康乗 由佳)

会員交流行事

十月十九日(日)
松風ビル (和歌山支部事務所)

会員交流行事として、お軸掛けや火入の灰型などの勉強会を行いました。また、和歌山青年会議所茶道同好会の和歌山青松会の皆さんとの交流も行いました。お互いに亭主を務めるお茶会を行い、相互の活動について情報交換を行うなど交流を深めました。(小林 麻希)



@WAKAYAMA_SEINENBU

和歌山青年部
Instagram

会員交流行事



ブロック研修会



観梅茶会



初茶会



地球と人の未来のために
持続的な世界の発展のために



ダイサン株式会社

総合人材サービス
アウトソーシング・人材派遣・流通加工

大阪府北区天神橋8丁目13-23 06-6353-3233 <https://daisan-1.com/>



(大阪東青年部)

創業370年の大阪の味

橋本京 小鯛ま刺



すし萬

<http://www.sushiman.co.jp>
大阪市西区航本町2-3-7
TEL:06-6448-6435
FAX:06-6448-6438



(大阪東青年部)



新築・リノベーション・大規模改修の設計・施工

株式会社 戎工務店

代表取締役 戎健太郎

〒657-0845
神戸市灘区岩屋中町1丁目2番9号
TEL:078-881-0701 FAX:078-861-1756



(大阪西青年部)

東京海上日動火災保険代理店
東京海上日動あんしん生命保険代理店



株式会社アイ・プラス

代表取締役 石井 孝昌

ISHII TAKAMASA
536-0016 大阪市城東区蒲生1-6-5 千寿シーヴV102
電話番号 090-7767-2482

(大阪西青年部)

IMAS

design&build

～お客様の想いを“カタチ”に～

株式会社 エム・エイ・エス

〒536-0023 大阪府大阪市城東区東中浜9丁目4-2
代表取締役社長 梶 和也
06-6185-1972

(大阪南青年部)



UCHIMOTO SHOKAI

株式会社 内本商會

代表取締役 内本 明伸

06-6554-5000

(大阪南青年部)



代表取締役 吉田 直人

SAITO YOSHIO

株式会社 オートサービス NKS

〒590-0151 大阪府堺市南区小代233番地1
TEL 072-205-6454 / FAX 072-205-6451
Mobile 090-4903-9291
Mail nanananaonoto12@yahoo.co.jp

(大阪北青年部)

左官・各種下地補修工事
外構・土木工事
リフォーム工事

TSUBAME 燕工業

代表者 奥野 誠司

〒590-0121 大阪府堺市南区片蔵669
Tel. 072-297-0628 Fax. 072-205-2174
Mobile. 090-9542-9385
E-mail. tsubame@sakai.nag.ne.jp

(大阪北青年部)

アドバンス ホーム



ADVANCE HOME

暮らしに笑顔をプラスする

株式会社 インフィールド



不動産・建築全般・賃貸・売買・管理・土地活用

(堺青年部)



一級建築士事務所

Aj-Studio

DESIGN & CONSTRUCTION

(和歌山青年部)

出版・企画・編集



どりむ社

代表取締役社長 税所貴一

住所：大阪市北区天神西町8-17 テンマセントラルビル
電話：06-6313-8001（代表） FAX：06-6313-8005
URL：<http://www.dorimu-web.com>

(大阪四青年部連合会)

建築、建材資材の生産加工から現場納品まで関わる全ての業務を一括対応



株式会社 中川工業所

Nakagawa Industry & Logistics Co., LTD.

〒660-0843 兵庫県尼崎市東海岸町23-2
E-Mail：info@nakagawa-kgs.co.jp

(近畿第二ブロック) <http://www.nakagawa-kgs.co.jp>

令和七年度 近畿第二ブロック研修会

八月二十四日(日)
和歌山城ホール

令和七年八月二十四日、和歌山城ホールにおいて近畿第二ブロック研修会を開催いたしました。

開会に先立ち、和歌山青年部によるお呈茶席では、和歌山城を一望できるお部屋で温かく蒸されたおいしい本ノ字饅頭に冷たい薄茶をお出ししました。



開会式では、歴代宗匠、物故会員に加え、先日お亡くなりになられた鵬雲斎宗匠に黙とうを捧げ、これまでのお導きに感謝をいたしました。また、主催者を代表して中川ブロック長からのご挨拶、ブロック顧問・近畿第二地区副地区長・大阪北支部副支部長・パスト全国委員池田周弘様からお言葉を頂戴し、研修会をスタートしました。



実技指導① 割稽古

今回の研修では、今日庵業鉢金澤宗達先生にご指導いただきました。割稽古では、帛紗捌きについて一つひとつの所作をご指導いただき、慣れて疎かにしていたところに気づかされました。



実技指導② 立礼

割稽古の後には、立礼席のご指導をいただきました。立礼棚は御園棚で、お道具の準備は大阪南青年部が担当いたしました。立礼席での扇子の扱いに始まり、半東と正客のやりとり、スムーズな進行のコツなど合わせて分かりやすく解説していただきました。



講義 茶花について

実技指導に引き続き、金澤先生から茶花について講義をいただきました。



花入れと薄板の取り合わせ、据える場所や花釘の位置、花を花台に乗せるときの注意などをお話いただきました。その後、金澤先生に花を入れていただき、青年部会員が入れた花にも「ここはこの様にした方が良い」と具体的なアドバイスをいただきました。

閉会式 総本部報告 青年部全国委員メッセージ

実技指導と講義の後には同ホールにて閉会式が行われました。総本部から宮本尚寛組織部課長に青年部の歴史や会員数の推移などをご説明いただきました。また、青年部全国代表者会議・吉岡供仁子副議長からは、所属されている福井青年部の活動の様子をご紹介いただき、青年部活動の意義やご自身の経験を交え、熱い想いを持って、伝えていただきました。

懇親会

研修会後の懇親会は、場所をダイワロイネットホテル和歌山に移し、金澤先生や来賓の先生方にも引き続きご参加いただきました。各青年部にちなんだテーブル対抗クイズ大会が行われ、同じテーブルについていた各青年部会員の皆様と楽しく語り合い、交流をもつことができました。

また、全国有数の柑橘類生産地である和歌山で開催されましたので、和歌山県産蜜柑ジュースや八朔ジュース、地産食材の数々を堪能させていただきました。



